

EHIME ROUSAI HOSPITAL KANGOBU NEWS NURSE LETTER Month

6



医療安全研修 ~セルフマネジメント~

北5病棟 京野 一代

医療の現場で私たちは今、厳しい状況に置かれています。高齢化社会になり、認知症の患者様は各病棟に多数在院しており、安全な環境をつくるのが本当に難しいと感じています。今回、稲葉一人先生の研修を受ける中で、「求められることは、全部できない」と聞き、肩の力が抜けたような気がしました。その上で患者のリスクを評価し、今私たちにできることは何かをしっかりと考え、最善を尽くすことが重要であり、そうすることで、私たちは過失を回避することができ、法的な責任を問われることはない学びました。しかしそれも、患者様と真摯に向き合うことが前提であることを忘れてはいけません。また、苦情の大部分はコミュニケーションで、患者様と医療者が、話し合うことの大切さも知りました。今後も他職種の方々と共に協力して、より良い看護をめざしていききたいと思います。



静脈注射認定講習

5月29日、静脈注射レベルⅢ認定の講習会が開催されました。日本BDの麓先生の講義後、実際に腕モデルを用いて、いざ実技トレーニング。6月には認定試験があるとあって受講生も必死。今年はスタッフの方々も実技指導に参加していただき、的確なアドバイスで技術を習得することができました。そんな中であって新人のみなさんは、実際にモデルにインサイト挿入ができることに感激・楽しい研修となりました。



H20年度 日本看護協会 通常総会

5月20・21・22

in さいたまスーパーアリーナで開催

南6病棟師長 泉 敦子



今年度の日本看護協会の事業計画は、

1. 看護基礎教育制度の改革と卒後臨床研修制度の創設
 2. 働き続けられる労働条件・労働環境づくり
 3. 効果のある生活習慣病予防のための保健指導プログラムの推進
 4. 安全で満足度の高い出産環境の実現に向けた助産センターの設置促進
 5. 在宅療養者の尊厳を守る訪問看護の推進
- の5点が重点事業となりました。医療制度改革に伴い「治療重点の医療から疾病の予防を重視した保健医療体系への転換」を図る事を余儀なくされています。すでに国そのものが特定検診・特定保健指導や後期高齢者医療制度、療養病床の再編等に動き始めました。この動きに対応する事を当院でも実行していかなければならなりません。そのためには看護部のみならず、職員が同じ方向をみて日々の業務に望む事が重要です。医療や看護が今後どの方向に進んでいくのかを理解するため、皆さんももう一度協会ニュースに目を通して下さい。

つばやき・・・ JUN.2008

立ち止まってないで。

Happyは 自分から
つかまえに 行くものだよ。

How To Aromatherapy ~Page.5

<エッセンシャルオイルのフレンドのコツ>

- ♪ 目的に合った作用を持つものを選ぶ
- ♪ 似た作用を持つものをフレンドすると相乗効果が!
- ♪ 香いのバランスを考えると3種類くらいが最適 変な香いになったら柑橘系を加えると整います

(R)



<ゆたたりリラックスフレンド> アロマランブカティッシュにたらして枕元へ...

- ★ラベンダー...鎮静
- ★スイートマジョラム...不安・ストレス解消と心身バランス調整
- ★オレンジ...深い眠りを助ける ストレス軽減
- ★ベルガモット...心を穏やかに